

# 令和2年度指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	グラスハウス
(2) 指定管理者	所在地 大阪市中央区北浜4丁目1番23号 名称 ミズノグループ共同企業体 代表者 美津濃株式会社 代表取締役社長 水野 明人
(3) 公の施設の所管部署	津山市地域振興部スポーツ課
(4) 指定期間	平成28年 4月 1日 ~ 令和3年 3月31日
(5) 評価対象期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月31日

## 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	64,505人(前年度 123,040人)
(2) 事業の内容	施設の維持管理及び施設の利用許可等グラスハウス運営業務

## 3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総 額	185,625千円(前年度 220,823千円)
	指定管理料	127,782千円
	利用料金収入(一般・会員・アスレチック利用)	35,886千円
	自主事業収入(事業収入、物販・レストラン収入等)	12,328千円
	その他の収入	9,629千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総 額	185,625千円(前年度 210,247千円)
	人 件 費	62,054千円
	事 務 費(通信費・事務消耗品費等)	1,315千円
	事 業 費(自主事業費・宣伝広告費等)	30,296千円
	管 理 費(光熱水費・修繕費・委託費等)	89,704千円
	そ の 他(保険料・公租公課)	2,256千円

## 4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>ご意見箱の設置による利用者アンケートを実施し、利用者の意見や要望の把握に努めた。施設の改善や管理運営に関すること等、様々な要望を整理分析し、改善要望に関しては、迅速かつ的確な対応に努めた。また、朝礼・日報での情報共有を図り、スタッフミーティングによる意見交換、情報分析を行った。顧客満足研修を重点的に実施し、職員の業務改善を行った。</p>
(2) 指定管理者の自己評価	<p>・「安全・安心・信頼」をお届けし、誰もが楽しく快適に利用頂けるよう管理運営に努めた結果、施設の事故、利用者の大きな怪我や苦情トラブルはなかった。また、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、検温、アルコールの設置、抗菌剤の塗布を行った。</p> <p>・施設管理については、定期点検を確実にを行い不具合の早期発見と耐用年数の延伸に努め、故障の発生を未然に防いだ。</p> <p>・経費削減については、レストラン休業により、冷蔵庫の電気を切り、電気代の削減やコピー用紙を裏紙、メモ紙にし、紙代の削減、植栽への水やり時間を短縮し、水道代の削減など経費削減を行い管理運営の改善に努めた。</p> <p>・利用促進については、利用者の健康増進を目指し、レッスンプログラムやイベントを開催し、運動型健康増進施設の提案を行い、レッスンプログラムは難易度や強度に強弱を持たせ、幅広い年齢層の方々に参加いただいた。年間を通じ、広報誌、ホームページや専用ブログを利用</p>

	<p>した広報活動を行い、利用促進に努めた。また、利用者アンケートを常 に実施し、利用者の声を反映した運営改善に努めた。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急講習、水上安全・消防避難訓練、施設マネジメント研修など 必要に応じた研修を行い、社員の教育に力を入れている。</li>   <li>・コロナ禍において、当該施設には県内外から多数の利用者が訪れる なか、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底したことで、安全・ 安心な管理運営に努められた。</li>   <li>・津山市民感謝キャンペーン（市民はプール半額）、会員感謝ウィーク （個人会員・ジュニアスクール生3名まで同伴者無料）、津山まちカレ 運動塾、ありがとうグラスハウス「プール半額キャンペーン」、ラスト レッスンパーティーなどのイベントや、ノルディックウォーク初心者 講習会など立地を活かしたイベント実施により利用を推進している。 また、体バランスチェック（体組成計測定会）、や新規事業としてケガ ゼロ測定会、ケガ予測診断テスト測定会、屋外ZUMBA、親子de運 動遊び、屋外太極拳等を実施し、地域住民の健康増進と交流の場を提 供している。</li>   <li>・光熱水費等の経費削減のため、電気製品の節電、コピー用紙等の削 減、節水時間短縮操作など積極的に取り組んでいる。</li> </ul>